

平成 29 年度 精神部会活動報告

【目的】精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送る事ができるよう、入院中から医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

【主な活動】

【来年度に向けて】

精神部会

- 昨年度、地域移行PJ、地域定着PJと分かれていたが、地域移行が進んできていることもあり、今年度は地域移行、地域定着と分けずに、部会として一体化し、地域の課題検討を行った。
 - ①事例検討…暴力をふるうために入退院を繰り返す方、地域移行支援を利用して退院につながった方等ケースを共有し、支援のポイントや地域支援者の連携の大切さ等について学習を深めた。
 - ②地域への啓発・研修…「もしかして発達障がい!?～あなたの悩みの背景と対応の仕方～」をテーマに、福家知則氏を講師に招き、12/1に研修会を実施。当事者、家族、支援者等、72名が参加。
 - ③発達障がいについての学習会…事例検討と兼ね、11/1の部会で福岡寿氏を講師に招き実施。
- 第5期障害福祉計画に盛り込まれている「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」のための協議の場を精神部会とし、住まいの確保支援等、課題の検討を行っていく。

○事例検討、啓発活動を継続していく。

○精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、検討を行っていく。

長期入院者等との面談

- 県保健師、市町村保健師、相談員で、精神科病棟に入院されている方との面談を継続してきている。今年度は計19名の方について面談や情報共有を行った。入院中の方と地域の関係者がお互いの顔を知り、ご本人の意向を聴き、それに沿った応援をできるよう来年度も継続する。

長期入院者等の面談、仲間としゃべろう会虹も来年度継続していく。

仲間としゃべろう会虹

- 当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として開催。月1回、中野会場・飯山会場を隔月開催とし、毎回5~6名の方が参加。